

### ■基礎データ

タイトル	緊急地震速報を聞いたときの「正しい行動」を学ぼう
ねらい	1. 緊急地震速報を聞いたときの行動を思い出すことができる。
(学習目標)	2. 教室と廊下での対応の仕方を学び、行動することができる。
対象学年	小学部(「指導上の留意点」の表現を変更することで中学部にも応用可)
教科・イベント等	事前学習1 (総合的な学習・特別活動)
学習形態	クラス学習 計45分
準備	アンケート(「地震アンケート」)、退避行動イラスト、ホワイトボード・ペン、訓練用音源(※緊急地震速報チャイム音入手方法を参照)など

### ■学習の流れ

構成・学習活動の内容	指導上の留意点(主な発問と子どもへの援助)		
導入 (3分)			
1. 全体で確認した内容について振り返る。(3分)	・児童の発言があったときに、緊急地震速報を聞く、教師が物を動かす、 実際にポーズをとってみる活動を行い、体験的に振り返ることができる ようにする。 ・「いつ」「どこで」地震が起こるかわからないこと、「一人でいるときに 起こるかもしれない」ことを再確認し、「自分で考えて行動する」ことが 意識できるようにしていく。 ※緊急地震速報、物が動くこと、「だんごむし」のポーズを確認する		
展開 1 (10分)			
2. 教室での安全行動について学習 する。(10分)	・机上学習中に地震が起こったらどのように行動したら良いのか発問する。解答が得られない場合は、避難訓練を想起させることで、机の下に隠れることに気付くことができるようにする。 ※経験から、机の下に隠れることを思い出す。		
	・実際に緊急地震速報を流し、自分で行動するようにする。児童の動きを見守ってから、必要に応じて言葉を掛けたり一緒に行ったりする。 ※緊急地震速報のチャイム音を流す ※緊急地震速報→机の下で「だんごむし」を確認し、やってみる。		
	・「だんごむし」のポーズが正しくできているか、机の幅から頭が出ていないかなど、一人一人確認し指導する。		
展開 2 (5 分)			

- 3. 廊下での安全行動について学習 する。(5分)
- 学習のポイント1「身を守る方法を身に つけさせる。」
- 学習のポイント2「机等がない時の身を 守る対応行動「だんごむし」を理解す る。」
- 学習のポイント3「自分で考えて行動することの大切さを理解する。」

- ・廊下を歩いているときに地震があるかもしれないことを伝え、教室と の違い(机がないこと)に気付くことができるような発問をする。
- ※北棟への渡り廊下へ移動する。
- ・机がない場所ではどのように行動したら良いか発問し、「だんごむし」 を確認する。
- ・実際に安全行動をしてみてから、「窓が割れる危険性」について話し、窓から離れた場所で「だんごむし」になることを確認し、行動してみる。 ※緊急地震速報→物が落ちてこない・倒れてこない・動いてこない場所で「だんごむし」を確認し・やってみる。

# 地震防災教育プログラム視覚障害版 ステップ1 事前学習・指導案(45分)



# まとめ (2分)

4. 振り返り(2分)

学習のポイント1「自分の命は自分で守るという意識をもつ。」

- ・ポイントを整理して復習する。また、これからの訓練についても確認 することで、「自分で考えて行動する」重要性を伝える。
- ※緊急地震速報→安全な場所へ移動→「だんごむし」を確認する
- ※いつ起こるか分からない、自分で身を守る意識を身に付ける。
- ※行動が定着するまでは、事前に訓練時間を予告して、事前指導を行う。

#### ■評価ポイント

- 1 緊急地震速報の基礎的な仕組みを理解しているか
- 2 強い揺れや緊急地震速報を聞いた時、どのような行動をとらなくてはいけないかを理解しているか
- 3 自分の判断で危険を回避し、自分の判断で行動することが理解できたか

### ■特記事項

- ・中学部や高等部では、地震や緊急地震速報のしくみなどの「理科学習」につなげることができる
- ・中学部以上では、グループワークによって個々の意見を共有すると効果的
- ・効果測定を行う場合、指導前後に事前事後評価のためのアンケート「地震アンケート」を記入させ確認する

#### 【緊急地震速報チャイム音入手方法】

- ・「緊急地震速報の受信時の報知音の音源提供について」緊急地震速報利用者協議会 http://www.eewrk.org/eewrk\_hochi-on/eewrk\_hochi-on.html
- ・「緊急地震速報の入手方法について」気象庁 https://www.data.jma.go.jp/svd/eew/data/nc/katsuyou/receive.html